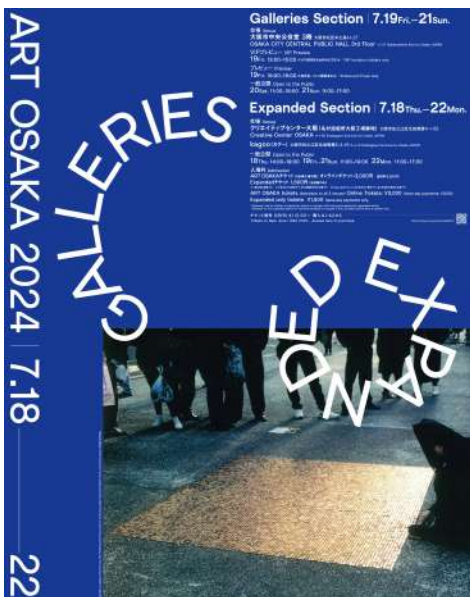


2024年5月31日



現代美術のアートフェア「ART OSAKA 2024」
2024年6月1日（土）10:00- 入場チケット販売開始！
アートフェアの見どころは？関連トークイベントも開催決定！



01 ART OSAKA 2024 ポスター

作品：松田幹也《10,000 コインアイコン》1セント硬貨 1992 パフォーマンス、リパティストリート/ブロードウェイ（ニューヨーク）Courtesy of MORI YU GALLERY

2024年7月19日（金）～21日（日）の3日間、大阪市中央公会堂（中之島・国指定重要文化財）、7月18日（木）～22日（月）の5日間、クリエイティブセンター大阪（名村造船所大阪工場跡地 / 北加賀屋・近代化産業遺産）と kagoo（カゲー / 北加賀屋・元家具屋）の計3会場で開催する、現代美術に特化したアートフェア「ART OSAKA 2024」（主催：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA）。明日、6月1日（金）10:00-、3会場全てに入場できるART OSAKA チケットを販売開始いたします。

「ARTOSAKA 2024」の見どころは、大阪を代表する近代建築の壮麗なホールと現代美術作品とのコラボレーション、そして、インダストリアルで広大な敷地を活用した、大型作品・インスタレーションなど、空間と共鳴するプレゼンテーションです。今をきらめく若手から、著名な作家までギャラリストの審美眼による作品のラインナップが一堂に揃い初めてアートを購入する場としても親しまれています。会期中は関連イベントとして、Galleriesセクションの土日に、アーティスト藤浩志とモスバーガーによるワークショップが実施される他、Expandedセクションでは、ハンブルクと大阪市との友好都市35周年を記念し、ハンブルク在住の3人のアーティストによる特別展「すべては水であられる」を

開催します。また、参加アーティストやギャラリストによる見どころを解説するトークやパフォーマンスなど多様なプログラムを行います。

その他、北加賀屋エリアのアート施設の特別公開や展覧会、中之島エリアの文化施設の相互割引など、連携イベントも実施しますので合わせてお楽しみください。

この機会に是非ご紹介の検討をお願いいたします。

■チケット情報 2種類

2024年6月1日（土）10:00～ 販売開始！ <https://www.e-tix.jp/artosaka2024/> *原則オンライン販売

ART OSAKAオンラインチケット（3会場入場可能）	3,000円（税込）*当日窓口払3,500円
Expandedチケット	当日窓口払のみ 1,500円（税込）

*Expanded会場にて7/18～22のみ販売

お得な相互割引も実施中！詳しくはウェブサイトの[相互連携](#)ページをご確認ください。

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

取材・掲載について : 小泉 press02@artosaka.jp TEL : 090-2385-4557

アートフェアについて : ART OSAKA事務局 担当：川西、鈴木 info@artosaka.jp
〒540-0012 大阪市中央区谷町5丁目6-7 中川ビル3B Tel.06-6777-8303

<https://www.artosaka.jp/2024/jp/>

■ART OSAKA 2024の見どころ紹介

ART OSAKAは、ギャラリストの審美眼で選び抜かれた、国際的に活躍する著名作家から今をときめく若手・中堅作家の作品までが一堂に会します。見どころポイントと注目作品をいくつかご紹介いたします。

ポイント1：大阪を代表する近代建築の壮麗な空間と、今を生きる現代美術作品との'響演' (Galleriesセクション)

木下佳通代(Kinoshita Kazuyo 1939-94 /Gallery Yamaki Fine Art)は関西戦後美術を代表する作家のひとりで、国内の美術館で数多くのパブリックコレクションがあります。また、フェアと同時期に大阪中之島美術館で大規模な個展を開催しています。観念的な写真作品やドローイング、油彩画など多様な手法で「存在とは何か」を追求し続けました。

沈昭良(Chao-Liang SHEN b.1968 /AKI Gallery)は、台湾を代表する写真家のひとりで、今年、長年の日本と台湾の写真界を繋いできた功績を讃えられ「日本写真協会賞」の国際賞を受賞しました。台湾特有の文化の一つ「舞台車」を撮影したシリーズが有名ですが、今回出展される《漂流》シリーズは、台湾の生活、人権、民族性など、さまざまな問題に言及しており、その繊細で抒情的な作風が高く評価されています。

梶本佳子 (Masumoto Keiko b.1982 /CANDYBAR Gallery)は、「あいちトリエンナーレ2019」などにも出展し、「美術/工芸」「器/装飾」といった通念的な枠組みをクロスオーバーする気鋭の作家です。日常で見慣れた器を大胆に変形・湾曲し、ユーモアあふれる新たな風景を生み出します。

黒宮菜菜(Kuromiya Nana b.1980 /ギャラリーノマル)は、大原美術館での個展(2019年)や尼崎・A-LABでの個展(2024年)など、精力的に活動をしている作家です。小説・神話・考古学・民俗学などをインスピレーションの源流にした独自の物語を、油彩・染料・蜜蝋などを用いて表現しています。

ポイント2：広大な敷地とユニークな会場を活用したサイトスペシフィックな展示：大型作品・インスタレーションやパフォーマンスを体感いただけます (Expandedセクション)

西野康造(Nishino Kozo b.1951 /アートコートギャラリー)は、ニューヨークの世界貿易センタービルエントランスホールに作品設置(2013年)や、台湾でのパブリックアート設置など、国内外で多数の実績ある彫刻家です。今回、1200m²の柱一本もない空間に、トラス構造を用いた最長25mの作品が複数設置され、作家史上最大規模の展示が実現します。



02. 木下佳通代《77-b》紙にシルクスクリーン、フェルトペン 1977
Courtesy of Gallery Yamaki Fine Art



03. Chao-Liang SHEN 《Drifting, New Taipei City》Inkjet C Print 2020
Courtesy of AKI Gallery



04. 作品：梶本佳子《本 / 壺》セラミック 2023
Courtesy of CANDYBAR Gallery



05. 黒宮菜菜《鳥を抱く#6》木製パネル、綿布、ジェッソ、油絵具、蜜蝋、葦(アシ)、ヒカゲノカズラ、ケイトウ 2023
Courtesy of Gallery Nomart



06. 西野康造《宙に架かる 2020》チタン合金 2020 Photo: Omote Nobutada
Courtesy of ARTCOURT Gallery

西山美なコ(Nishiyama Minako b.1965 /Yoshimi Arts)は、近年、国立国際美術館や兵庫県立美術館等でも作品所蔵がされている作家です。1997年に開催された個展「ピンク♥ピンク♥ぴんく」(西宮大谷記念美術館/兵庫)に出品した作品「♡あこがれのシンデレラストage♡」(1996年)を再展示します。西山が当時集めていた少女向けペーパートイを等身大化し、ステージの表と裏、虚構と現実を具現化してみせます。



07.西山美なコ《♡あこがれのシンデレラストage♡》
特製ダンボール、アクリル絵具 1996
撮影 西村浩一 © Minako Nishiyama
Courtesy of the artist and Yoshimi Arts

松田幹也(Matsuda Mikiya b.1949/ MORI YU GALLERY)は、約40年以上にわたりニューヨークに在住し、作品を制作してきました。今回は、1992年にニューヨークの路上でおこなった自身のパフォーマンスを再解釈し、1セント硬貨1万枚を1枚ずつ並べていくパフォーマンスをおこないます。一見単純な反復作業、その継続が何をもたらすのか、ぜひ会場で目撃してください。



08 松田幹也《10,000 コイン/アイコン》1セント硬貨 1992 パフォーマンス、リパティストリート/ブロードウェイ(ニューヨーク)
Courtesy of MORI YU GALLERY

モフモフコレクティブ (Mofu mofu collective 2022年設立 /YOD Gallery)は、現代美術家ヤノベケンジにより発足されたコレクティブです(メンバー:但野生物、山口京将)。「モフモフしたものの姿はモフモフで、触れた感触はモフモフで、その視覚触覚から伝わったモフモフは精神もモフモフにしていく。モフモフとしたなにかが集まるモフモフコレクティブによるこそ。」



09.モフモフ・コレクティブ《ケダマ(シロイコイビト)》《擬態するなにか》《サクラミムズシ》《ミドリミムズシ》《キミムズシ》《ガーダラン》
ミクストメディア 2022 Courtesy of YOD Gallery

ポイント3:ファーストコレクションの機会としても最適
(アートワークページのご紹介)

ART OSAKA の特徴の1つに、著名な作家の作品のみならず、魅力的な若手作家の作品まで様々な価格帯の作品を多数取り揃えている点が挙げられます。新たな感動体験の証として、作品をコレクションしてみたいはいかがでしょうか? 現在ウェブサイトでは、希望の作品のジャンルや予算(5万円~)に適した作品を探すことができるアートワークページを公開中。フェアの予習にぜひご活用ください。

アートワークページ: <https://www.artosaka.jp/2024/jp/artwork/>



10. 野原万里絵《砂遊び01》アクリル絵具、紙、額装、2023 Courtesy of Gallery Hosokawa



11. 鈴木敦夫
《carvedpainting24.01.31s》
アクリル、パネル、2024
Courtesy of GALLERY RIN



12. 西村涼《私の生命を旅する7》
ホワイトワトソン紙、銅版インク(ドライポイント)、2023 Courtesy of Kyoto Artzone Kaguraoka

2024年5月31日

■関連イベント

<https://www.artosaka.jp/2024/jp/event/>

情報は随時更新いたします。新着情報はウェブサイトをご参照ください。

Nakanoshima Area 中之島エリア

○ワークショップ「おもちゃのかけら - 繋いで飾ろう! -」

モスバーガーとアーティスト藤浩志氏が「子どもにアートに触れさせたい!」という想いで、使わなくなったおもちゃを使って、自分だけのアート作品を作るワークショップを実施します。

日時: 7月20日(土)11:00-19:00、7月21日(日) 11:00-17:00

*報道関係者の方は19日(金)もWSを体験頂けます

会場: 中之島公会堂 3F 第9会議室

ワークショップ監修: 藤浩志 (アーティスト)

対象: 小学生(保護者同伴)

所要時間: 20分程度

事前申込み不要

定員: 8~10名程度(席が空き次第順次ご案内)

企画運営: 株式会社モスフードサービス

詳細は6月下旬頃にウェブサイトでご案内します。



13. 藤浩志《Toy Paradise》インスタレーション風景
2023 不知火美術館・図書館 courtesy of MORI YU GALLERY



14. マリエラ・モスラー《ROMANTIC CURTAIN》
Curtain 2022 @Mariella Mosler

Kitakagaya Area 北加賀屋エリア

○トーク「Expanded 作品解説ツアー&インスタライブ」

日時: 7月18日 (木) 16:00-18:00(予定)

会場: クリエイティブセンター大阪、kagoo

大型作品を中心に展開する「Expandedセクション」の出展作家やギャラリストが作品の見どころを解説。ART OSAKAの公式アカウントからインスタライブも同時配信いたします。

Instagramアカウント: https://www.instagram.com/artosaka.jp?igsh=YmR4czkxZ3pseDQ0&utm_source=qr

○特別展: 大阪・ハンブルク友好都市35周年記念展

「すべては水であられる」

国際的に活躍する、ドイツ・ハンブルク在住の3名のアーティストの展覧会を開催します。インスタレーション、ビデオアートなど、多彩な作品をお楽しみください。

出展作家: マリエラ・モスラー、オリバー・ロス、ジョセフィーヌ・ベットガー

会期: Expandedセクションの開催時間に準じる

会場: kagoo 3F

企画: Mikiko Sato Gallery

助成: ハンブルク文化メディア省、大阪市

共催: ハンブルク市 協力: 在ハンブルク日本国総領事館



15. オリバー・ロス《Beichtstuhl》Installation 2020
@Oliver Ross



16. ジョセフィーヌ・ベットガー《Photon Y》
Photo, video still 2022 @Josephin Böttger

※大阪・ハンブルク友好都市35周年記念展「すべては水であらわれる」関連アーティストトーク

日時：7月20日（土）17:00-18:30 / 逐次通訳あり

会場：クリエイティブセンター大阪 2F

登壇：マリエラ・モスラー、オリバー・ロス、ジョセフィーン・ベットガー（本展出展作家）

進行：櫻岡聡（FINCH ARTS ディレクター）

定員：20名 *事前申し込み優先

申込先：<https://peatix.com/event/3970232/view>

○ **Expanded Party**

日時：7月20日（土）19:00-21:00

会場：kagoo

Expandedセクション会場のkagooにて、ささやかなパーティーを開催します。ハンブルク展出展アーティストのジョセフィーン・ベットガー氏の1日限りの特別なプロジェクションパフォーマンスを行います。

*会場のスペースに限りがあるため、混雑する場合は、入場を制限させていただく可能性がございます。

■ **連携イベント**

各施設の詳細情報はウェブサイトを参照ください。

<https://www.artosaka.jp/2024/jp/event/>

○ **美術館や施設との相互割引**

連携期間：7月6日（土）～28日（日）

[中之島エリア] 国立国際美術館 特別展「梅津庸一 クリスタルパレス」、graf shop & kitchen

（協力：クリエイティブアイランド中之島実行委員会）

[天王寺エリア] あべのハルカス美術館「あべのハルカス美術館開館10周年記念 広重一摺^{すり きわみ}の極一」

○ **北加賀屋のアート関連施設の特別公開 [北加賀屋エリア]**

期間：7月19日（金）～21日（日）

1. MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

2. Super Studio Kitakagaya(SSK)

3. M@M(モリムラ@ミュージアム)

4. SMASELL SUSTAINABLE COMMUNESMASELL

5. 千鳥文化 ※7月18日（木）～22日（月）まで開催

協力：千島土地株式会社

2024年5月31日

■ アクセス

● 無料シャトルバス

中之島ー北加賀屋間を直接結びます

運行期間 2024年7月19日(金)~21(日)

所要時間 30~40分 1時間毎に発着

料金 無料

定員 45名程度 *予約不要、当日先着順

* 出発の30分前より整理券配布



● 北加賀屋周遊バス

北加賀屋駅ークリエイティブセンター大阪ーkagoo

運行期間 2024年7月19日(金)~21(日)

30分毎に運行

料金 無料

定員 14名程度 *予約不要、当日先着順

* 整理券配布なし

17,18.
無料シャトルバス、北加賀屋周遊バス乗り場

● LUUP

北加賀屋エリアにシェア電動キックボードを仮設します

運行期間 7月19日(金)~21(日)

<https://luup.sc/>

アプリDLはこちらから

<https://ride-your-city.luup.sc/Myjb/cfcdb04a>

19. LUUP 参考写真

■ 広報用画像について

広報用画像として1~22のイメージ画像、チラシに掲載されている出展予定のアート作品の参考画像、及びフェアのロゴをご用意しています。必要な方は、下記お問合わせ先までお気軽にご連絡ください。

使用の際はキャプションの明記にご協力をお願いいたします。

また、掲載が決まりましたら、掲載紙やPDF データを1 部事務局までお送り頂くか、又は、掲載先URLをお知らせ下さい。

なお、最新情報は随時公式ウェブサイト、facebook、twitter、instagram にて配信いたします。合わせてご覧ください。

公式ウェブサイト：<https://www.artosaka.jp/2024/jp/>

facebook：<https://www.facebook.com/artosaka.jp>、twitter：https://twitter.com/art_osaka

Instagram：<https://www.instagram.com/artosaka.jp/>

「ART OSAKA 2024」開催概要

日程：2024年7月18日(木)～22日(月)

*開場日時は会場によって異なりますのでご注意ください。

■ Galleries セクション：ブース形式のフェア

日程：2024年7月19日(金)～21日(日)

一般公開： 20日(土) 11:00—19:00

21日(日) 11:00—17:00

19日(金) *招待者、プレスのみ

出展ギャラリー：45ギャラリー

会場：大阪市中央公会堂 3階 [中集会室・小集会室・特別室]

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27

■ Expanded セクション：

大型作品やインスタレーション等に特化したフェア

日程：2024年7月18日(木)～22日(月)

一般公開： 18日(木) 14:00—19:00

19日(金) - 21日(日) 11:00—19:00

22日(月) 11:00—17:00

出展作家：21組のアーティスト

会場：1.クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

2. kagoo(カグー)

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋5-4-19



20. 大阪市中央公会堂



21. クリエイティブセンター大阪
(名村造船所大阪工場跡地)



22. kagoo (カグー)

公式ウェブサイト：https://www.artosaka.jp/2024/jp/

主催：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

[特別協賛]

 千島土地株式会社

[協賛]



三菱地所株式会社、サントリーホールディングス株式会社、野村證券株式会社、三菱UFJフィナンシャル・グループ、株式会社りそな銀行、みずほ銀行、株式会社紀陽銀行、

泉海商運株式会社、株式会社ART OFFICE OZASA、医療法人 芳歯会 ウェハシ歯科医院、株式会社ウェアハウス、谷間総合会計事務所、株式会社宮本工業所、

株式会社ステージ、清水建設株式会社、株式会社竹中工務店、ホルバイン画材株式会社 [ホテルパートナー]三井ガーデンホテル大阪プレミア

[協力]クリエイティブアイランド中之島実行委員会、平成コミュニティバス株式会社、株式会社Luup、リーガロイヤルホテル、THE BOLY OSAKA

[後援]大阪市、大阪市教育委員会、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人関西経済同友会、ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、駐大阪韓国文化院、

台北駐日経済文化代表処、在大阪・神戸米国総領事館 [パートナー]DELTA、ONE ART Taipei、Art Scenes(株式会社TODOROKI) [助成]  文行  大阪市

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

取材・掲載について : 小泉 press02@artosaka.jp TEL : 090-2385-4557

アートフェアについて : ART OSAKA事務局 担当 : 川西、鈴木 info@artosaka.jp

〒540-0012 大阪市中央区谷町5丁目6-7 中川ビル3B Tel.06-6777-8303

<https://www.artosaka.jp/2024/jp/>